

高砂再起動!

チーム再起動 代表 加古ときはる

住所 高砂市曾根町764 電話/FAX 079- 448-1981

E-mail:takasagosaikido@yahoo.co.jp

準備号

【再起動＝電源を一度落として、再度起動させる 主な目的はエラーの回復】

2008年3月19日 チーム再起動を結成

今の高砂、何とかせねば…

情で票を売り渡す安易な副市長擁立劇という高砂の緊急事態に対して、高砂政経懇話会のメンバーを中心に、「チーム再起動」が結成されました。

高砂市の大きな節目である4月6日告示、13日投票の高砂市長選挙に向けて、政策提言などさまざまな政治活動を行っていきます。

高砂市に大義が失われている

【大義＝人間として踏み行すべき最も大切な道。】

代表 加古ときはる

私は市議時代から一貫して「情熱・識見・責任＝自分の中に理想を描きつつ、自分の理念や大義を判断基準にして現実に対応をする」ということを心がけてきました。

今の高砂市にはその理念や大義が消えつつあります。

副市長（加古川市在住、市職員出身）が3月15日付新聞に出馬の意向との記事が掲載されました。新聞報道によれば「岡氏の公約を果たす」「大方の市議が支持」とのことです。

以前から一部の市議が「市長が亡くなったら取り敢えず副市長で」と、副市長擁立に動いていることを苦々しく思っていました。

なぜなら、それはあまりにも短絡的な考え方だからです。

更にそこへ他の市議達、それも前回の選挙で岡氏の対立候補を推した市議達までが加わっているのです。

そこには**理念・大義のかけらもありません。**

しかもあきれたことに3月17日の本会議で一部の議員が「新聞報道の真実は」と問われたにも関わらず、当の本人は一言も発言せずじまい。「個人のことから」という趣旨の議長の発言でそのまま進行したとのこと。

新聞報道までされておきながら、はっきりとした意思表示もしない副市長、させない議長。

私が議長を勤めた時とは大きく市議会も行政も変わっているようです。

高砂市に大義を取り戻すために私は仲間たちと「チーム再起動」を結成し、政治活動を始めます。次号からは私の生まれ育った高砂市に対する熱い想いを語ります。

■プロフィール 加古ときはる（元高砂市議会議員）

高砂市曾根町生まれ。曾根小学校、松陽中学校、加古川東高校をへて会社員へ。31歳の時に特殊履物メーカーを起業。世界中を飛び回り営業し、不況や水害などの苦しい時期を乗り越え、地域の中堅企業に成長させる。

「日本の伝統的な匠を基調としたタビ」開発などユニークなものづくりはNHK「ぐるっと関西」にも取り上げられる。

ラブホテル建設反対運動に取り組んだPTA活動をきっかけに高砂市議会議員になり、以後6期24年活動。民間企業経営の視点から財政問題、行財政改革提言を得意分野とする。市議会議員も2度経験し、大内／田村両市長時代には混乱する議会をまとめあげた。

趣味は歴史。興味がこうじて現在、姫路獨協大学の聴講生。